

2024年1月15日に開催された2023年度第7回理事会(定例)の概要をお知らせします。

<決議事項>

●コンプライアンス違反に対する処分決定について

- ・コンプライアンス委員会で審議を行った内容の答申（JSP0資格を持たない対象者）
- ・コンプライアンス案件はスピードや時間軸が重要なため、資料に明記する。

対象チーム	対象行為者	資格	違反行為	理事会処分決定
兵庫県内高等学校 女子バレーボール部	監督	JVA 公認審判員 資格の保有なし	暴言行為	譴責

【決議事項】

提案のとおり、処分決定を承認する。

<報告事項>

●2023年度第3四半期職務執行報告について

法令及び理事会運営規程に基づき、2023年度第3四半期の職務執行報告が会長、業務執行理事、室長・本部長より行われた。主な報告内容は下記のとおり。

【川合会長／代表理事】

- ① 各スポンサー企業の代表取締役社長・役員とのご挨拶
- ② 各種メディアとの取材対応や意見交換
- ③ 閣僚、官僚、議員との会食面談
- ④ 各種大会の開閉会式・表彰対応・視察
(ワールドカップ、BVJ大阪・松山・須磨・インカレ、天皇杯・皇后杯等)
- ⑤ 新聞広告賞授賞式出席

【村上事務局長／大会運営事業本部長】

- ① 第78回国民体育大会(鹿児島県)への出張
- ② 報酬等検討委員会出席
- ③ 事務局職員対象新人事制度説明会の実施
- ④ コンプライアンス委員会出席
- ⑤ JOC加盟団体専務理事会議出席

【灰西業務執行理事／指導普及事業本部長】

- ① 指導普及委員会の推進体制構築に向けての作業
- ② 2023年度「JVA公認講師」認定講習会実施

- ③ JVA 体罰・暴力の相談窓口寄せられた相談事案の確認調査を実施
- ④ 通報フォームに寄せられた通報事案の確認調査を実施
- ⑤ 都道府県協会への法人化に向けた現状調査の実施

【矢島業務執行理事／ハイパフォーマンス事業本部長】

- ① 杭州アジア競技大会（@中国）帯同
- ② パリ五輪予選ワールドカップ チーム対応
- ③ 各種国内大会視察（Vリーグ・BVJ大阪・天皇杯皇后杯・JOCカップ）
- ④ 各種合宿視察（女子U171、U18・20合同視察）
- ⑤ 男子・女子強化委員会出席

【内藤業務執行理事／大会運営事業本部長】

- ① パリ五輪予選ワールドカップ運営業務
- ② FIVB 役員と関係者との協議
- ③ スポーツ庁への国際大会招致に関する説明
- ④ 故猫田氏国際バレーボール殿堂入り授賞式への出席（@アメリカ）
- ⑤ FIVB バレーボール・カレンダー会議への出席（@スイス）

【紀伊業務推進室長】

- ① 報酬等検討委員会陪席
- ② HPT 研究所伊藤所長との新人事評価制度の打ち合わせ
- ③ JVA マネジメント研修実施
- ④ 新人事制度説明会・第1回評価者研修実施
- ⑤ コンプライアンス委員会陪席

【川合庶ビーチバレーボール事業本部長】

- ① ジャパンツアー各開催地大会打合せ・開催準備・大会運営
スポンサー対応（BVJ大阪・松山・須磨）
- ② 新規高校全国大会キックオフ会実施
- ③ JOC 強化センター会議出席
- ④ ビーチバレーアカデミー強化合宿視察
- ⑤ JOC アスナビ関連業務打合せ・対応

【藤山マーケティング事業開発本部長】

- ① 新規スポンサー獲得・既存協賛社対応及び継続作業
- ② インターブランド社と新ブランディング作業
- ③ 日本代表グッズ開発・販売促進、ファンクラブ事業の推進
- ④ 国内大会の協賛獲得、価値向上施策

⑤ 親子向け教育プログラム「つなぐスクール」スタート

●2024 年度運営方針及び事業計画について

村上事務局長より下記のとおり報告が行われた。

今回、2024 年度運営方針を報告事項としたのは、中期経営計画の決議が3月のため。事業方針や重点実施項目、そして事業計画は中期経営計画に沿って策定したい。そのため、中期計画に変更が生じて事業方針や重点実施項目に影響が出る場合には随時反映させていくが、最終的には3月の理事会で決議事項として提案をする。また、各事業本部で事業計画を立てていく必要があるため、本日ご意見をいただき、大筋の合意をいただけるのであれば事業計画の作業に取りかかりたい。

●組織基盤改革プロジェクトの進捗について

灰西業務執行理事より下記のとおり報告が行われた。

前回「都道府県協会に対して法人格取得に向けた現状調査を行った」と報告したものの続報として、本日主だった部分を説明する。

○法人格を持っているかどうか

法人格を取得済み 12 団体
(内訳：一般財団法人 6、一般社団法人 5、公益財団法人 1)
法人格を持っていない 35 団体
既に取得に向けた作業中 8
検討中ではあるがまだ作業には入っていない 27

○年間の予算規模

半分以上は1,000万円程度。
またその大半が事業費であり、法人化をした際の管理費のような項目については予算がほばない状態で運営を行っている状況だった。

○協会運営の課題

現在困っている状況としては、一番は「財源不足」、次に「次世代の人材不足」、それから「競技者の減少」などに続く。

○JVA からのサポート希望項目

望んでいることは「財政サポート」、法人格を取得していく際の「規程整備サポート」、事業運営のなかの「ノウハウサポート」といったことが挙げられた。

今後プロジェクトでは、調査結果を受け、JVA としてしっかりと都道府県協会が法人化に向かえるよう、財政施策も含めて試算をしていく。どの程度の予算があれば安心して法人化に踏み切ることができるかといった目安等も、次回の理事会でお示しできるよう準備していき

たい。

大阪府協会の不適切会計処理の問題から法人化に向かってきているが、都道府県協会にはしっかりと説明ができていなかった。そのため今月末に都道府県協会に集まっていただき、JVA として法人化を推進していく背景等をしっかりと説明する会議を開催する。そのなかでプロジェクトとしてどのように作業を進めていくか説明をする予定。

●コンプライアンス委員会の処分決定

灰西業務執行理事より下記のとおり報告が行われた。

対象チーム	対象行為者	資格	違反行為	JSP0 処分決定
福井県内高等学校 女子バレーボール部	監督	公認バレーボールコーチ 1	暴力行為 身体的ハラスメント・虐待	資格停止 6 か月
栃木県内高等学校 男子バレーボール部	監督	公認バレーボールコーチ 1	暴力・ハラスメント・暴力・暴行その他身体的虐待	資格停止 12 か月

●評議員懇談会の位置づけについて（評議員会運営規程の改定案）

村上事務局長より下記のとおり報告が行われた。

評議員会から理事会へ提案された、評議員懇談会を公的な位置づけにすることについて、現状を報告する。評議員会運営規程の第 20 条に新設するよう考えている。

これまでは理事会のおおよそ 1 週間後、評議員会の皆様を対象に、理事会の内容を説明し、意見交換をする場として設けていた。評議員会からの要望にそって規程に盛り込むにあたり、総務部が菊地監事や JOC の法務サポート等に相談してきている。評議員会案では規程に盛り込むにあたり不足を指摘いただいていた。追記案の主だった点は以下のとおり。

名称：意見交換会

開催/招集権者：代表理事

開催頻度：原則として年 2 回（上期 1 回、下期 1 回）

報告事項の具体化

出席者：評議員の他、代表理事、副会長、業務執行理事、事務局長が出席（議長は代表理事）

代表理事は必要に応じて事務局員等の出席を求めることができる。

概要の記録：意見交換会メモとして概要を記録する

今週 19 日(金)に評議員懇談会が予定されているため、その場で評議員から改定案に対するご意見をいただく。その内容を受けて3月の理事会でお諮りできればと考えているため、進展にあわせて理事会にお示ししていく。

●**功労者Ⅱ表彰報告について**

村上事務局長より下記のとおり報告が行われた。

○第15期(2023年度)第3回功労者Ⅱ表彰授賞者

- ・安部 昭 宮城県バレーボール協会 理事長
- ・阿部 俊和 徳島県バレーボール協会 会長

以上